

ARAI NEWS

Actual Story From Inside.



ニューシールド システム誕生

先日の東京モーターショー会場において、アライでは新しいシールドシステムを発表させて頂きました。それは、確実に機能するシールドが、何の道具も使わず、ワンタッチで交換出来るという画期的なシステムです。今回はこのシステムについてお話しさせて頂きたいと思います。

ある日の夕暮れ時、根っからのライダーであるアライの開発スタッフが、走りに行こうとした時の事です。時間が時間なのでヘルメットにつけられていたスモークシールドを、クリアーに交換しているところですが、コインでネジを外す事案を考えると、つい面倒になり、まあいいだろう。とスモークのまま出かけてしまいました。でも暗くなるにつれ、やはりスモークでは視界がおもわしくなく、やむを得ずシールドを上げて走ったとの事です。ところが、その夜はどうした事かホコリや虫がやけに多く、顔や目が痛くなるばかりで、やっぱりクリアーと交換すれば良かったと後悔したそうです。

でも、それがヒントになりました。スベアライは持っていたのに、ただ単にシールド交換が面倒だという理由で、痛い思いをした。この体験が、次の開発ミーツイングで話題となり、結局シールドの交換が気軽にできるようにしようということになりました。アライは技術者である前に、ひとりのライダーとして発想するのです。それが新しいシールドシステム開発プロジェクトの第一歩でした。

ヘルメットのシールドに要求されるのは、自在に開閉できるスムーズな動きと、それを制御する機構。そして、高速走行中に横を向いた時でも、開いてしまうことのないように止めておくロック機構です。これらの条件をすべて満たすとすると、どうしてもシールドやホルダーのメカは複雑なものになってしまいました。そのために、今まではシールドひとつ交換しようとしても、必ずコイン等の道具は必要で、しかも外した後は、シールド、ネジ、ホルダーなどに、数多くのパーツに分かれ、そのどのひとつがなくなっても元の通りに戻すことはできませんでした。そのため、ついついシールド交換は面倒となり、シールド交換が比較的簡単に行えるアライの製品においてさえ、アライのスタッフ自身がシールド交換を怠ってしまうこともあったくらいです。

アライが開発した新しいシールドシステムでは、道具入らずで簡単に取り外しができます。外してもヘルメット本体とシールドに分かれるだけです。なくなってしまふような部品もない訳です。しかも、高速走行時に横を振り向いても安心できるロック機構を始め、ワンタッチで開閉でき、優れた節度を持つラチ

ェット機構など、シールドに要求される条件はすべて満たしています。しっかりとした取り付けによる安定性と、ワンタッチで着脱できる機能性という相反する要素を組み合わせることに、ツーリング途中の路上でも、クリアーとスモークとの交換ができるのはもちろん、虫や汚れのついた時にも、シールドを取り外しての水洗いも気軽にできるようにするのです。

みなさんの中にも、シールドの交換や手入れを、面倒だからとつい怠ってしまうような方も数多くいらっしゃるでしょう。しかし、アライの新しいシールドシステムなら、今まで手入れをしていなかった人でもために手入れができるようになり、シールドに対する扱いが変わってくるはずで、面倒なものより面倒じゃないほうがいいのは万人の認めることです。近い将来、世界中のシールドシステムは、アライが開発したような、道具入らずで簡単に交換できるように変わってゆくことになるでしょう。

アライでは、モーターショーで発表させて頂いたシステムZの他にも、複数のシールド着脱システムを開発しました。'88年からは、順次商品化させて頂いたくつもりです。楽しみにして下さい。

